

# 「快適」を保証する ワンクラス上の運用体制

「快適・安定運用」と「低料金」という二律背反するテーマを高次元でバランスをとっているCsideNetのレンタルサーバー。信頼の運用体制をキープしつつ、新しいサービスの導入にも積極的な同社にはしっかりとした技術的基盤がある。そのCsideNetの技術とネットワーク構成、運用方法について解説しよう。

## 余裕のあるバックボーン回線と サーバー定員が快適環境の基本

「快適環境の提供」と「安定運用」 - CsideNetが設立当初から掲げているスローガンだ。いや社是と言ってもいいだろう。この2つのキーワードは、レンタルサーバー事業者としてユーザーにサービスを提供する以上、当然意識すべき方針であり目標なのだが、個人でも利用できる手ごろな料金で、この2つを確実に実行するのは容易な話ではない。

この点に関してCsideNet技術部長の田中大輔さんは、「メディアエクステンジというデータセンターにサーバーを設置しており、1Gbpsの専用回線で接続しています」と説明しつつ、「合計転送量は、夜の混雑時間帯でも120Mbpsを超えることはありません」と、回線容量としては十分に余裕を持った運用体制が敷かれているこ

とを強調する。

一方、現在1万5千人ほどの契約ユーザーを収容するサーバーに関して言えば、同社は1台の共用サーバーに最大140定員という自主ルールを制定している。この140という数字について「設立当初に定めた定員です。今では当時よりはるかに処理能力の高いサーバーを使っていますので、十分に余裕を持った数字と言えるでしょう」（田中部長）と語る。

このようにCsideNetでは、回線とサーバーの両面から十二分に余裕を持った運用体制を敷くことで、ユーザーに「快適」と「安定」を提供している。

## 突発的なアクシデントにも臨機応変に対応して安定運用を死守

ただ、万全の運用体制を持ってしてもアクシデントは起こり得るものだ。突発的なできごと、いかに迅速に対処して被害を最小限に食い止められるかもレンタルサーバー事業者としての腕の見せどころだろう。

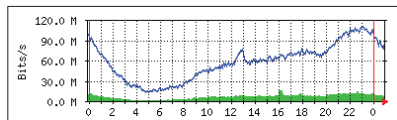
CsideNetで実際に起こった事例を紹介しよう。同社の契約ユーザーが公開しているウェブサイトがYahoo! JAPANのニュースページに紹介され、リンクを張られたことがある。このときは「これまでの何百倍というアクセスが一気に集中した」（田中部長）という。これを放置しておく、サーバーの処理が遅くなり共用サーバー内の他のユーザーに多大な迷惑がかかる。そこで「沈静化するまでの措置として

The screenshot shows the C'S SERVER website with a navigation menu at the top including 'ホーム', 'サブドメイン', '独自ドメイン', 'SSL証明書', 'お問い合わせ', and 'お問い合わせ'. The main content area features a 'What's New' section with dates and descriptions, a 'C'S SERVER 運用状況' section with a line graph showing usage over time, and a '独自の運用状況' section with a bar chart. There are also several promotional banners for services like 'サブドメインサービス' and '独自ドメインサービス'.

C'S SERVER Personalには、月額1,890円前後で独自ドメインによる情報発信が可能な「独自ドメイン」と月額780円の「サブドメイン」がある。個人や中小法人の利用が多い。このほか、事業者向けにセキュリティ機能を重視した共用サーバーサービスのC'S SERVER Professionalを用意する。



CsideNetの技術部長、田中大輔さん(左)と技術スタッフの西丸貴史さん。

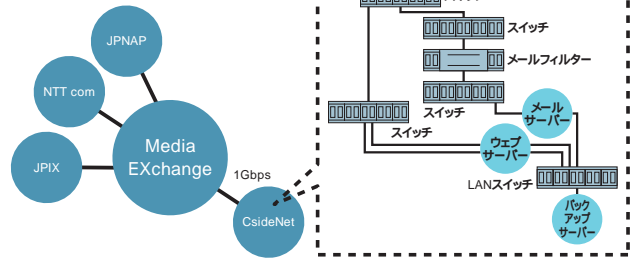


メディアエクスチェンジ直結の1Gbpsのバックボーン回線を確保する。専用回線の運用状況はCsideNetのウェブサイトで公開され、最大トラフィックはピーク時でも約120Mbps程度と、十分に余裕を持った運用だ。



C'S SERVERで順次導入しているDELL社製PowerEdge1750。

CsideNetネットワーク構成図



C'S SERVERの設備を置く大手データセンターのメディアエクスチェンジは、回線容量合計約10GbpsでIXや上位プロバイダーと接続している。このメディアエクスチェンジの回線にC'S SERVERは1Gbpsで直結し、快適な環境を提供する。

このサイト専用のサーバーを用意してアクセスはすべてそちらに流す処置を取りました。田中部長と教えてくれた。このような突発的なアクシデントにおいても、機転を利かせた迅速な対応がなされることで安定運用が保たれる。

### 3年周期でサーバー本体を入れ替えてトラブルを回避する

現在、CsideNetが提供するサーバーのデータバックアップ体制は、どのようになっているのだろうか。「週に1回、お客様の全データとそれを構成するシステムのデータをフルバックアップしています。また、それとは別に1日に3回、差分をバックアップしてサーバー内には2～3世代分のデータが保存されています。さらに万が一サーバーに問題が起きた場合を考えて、1世代分のフルバックアップデータを常に外部のストレージに蓄えています（田中部長）

## 「過去2～3週間の任意の時点にデータを戻せる」サーバーのバックアップ体制

CsideNetはユーザーによるCGIやPHPの設定を許可している。「2分に1回自動プログラムでサーバーを監視しているので、ユーザーが設定したPHPが暴走するなどの問題が起こると異常発生のお知らせがスタッフ全員の携帯電話に転送されます。サーバーームは24時間365日の有人監視体制が敷かれているため、サーバーの監視業務に就いている者がサーバーを再起動するなどして即座に対応します（技術スタッフの西丸貴史さん）とのことだ。「一次対応では復旧しない大きな問題が発生した場合は私が駆けつけます。このため、データセンターまで自宅から走って2分の距離に引っ越してきました（田中部長）

同社では、サーバーのハード的なトラブ

ルによるサービス停止などを回避するため、3年の周期でサーバー本体を入れ替える作業に取り組んでいる。すでに、C'S SERVER Personalでは順次入れ替える形で最新機種であるDELL社製のPowerEdge1750の導入が始まっている。ただ、「これまでより電力消費が大きい機種なので1つのラックに従来30台のところ、20台しか組みません。そのぶん運用コストが跳ね上がるのが悩みの種です」（田中部長と訴える。「だが、安定した運用を考えて、あえて導入することにしました（同氏）と、さらに強固で安定な運用体制を目指す姿勢を強調する。

「快適」「安定」が高次元でバランスのとれたCsideNetのサービスからは、今後も目が離せない。

### サーバー構成とサービス料金

	C'S SERVER Professional	C'S SERVER Personal( 独自ドメイン )	C'S SERVER Personal( サブドメイン )
月額利用料金	6か月契約8,800円 / 12か月契約8,000円	3か月契約1,890円 / 12か月契約1,680円	3か月契約780円 / 12か月契約735円
サーバー	DELL社製 PowerEdge1750	DELL社製 PowerEdge1750	DELL社製 PowerEdge1750
CPU / メモリー	Intel Xeon 2.4GHz / 1GB	Intel Xeon 2.4GHz / 1GB	Intel Xeon 2.4GHz / 1GB
HDD	73GB x 3基	73GB x 2基	73GB x 2基
OS	Debian3.0r2 Stable	Debian3.0r2 Stable	Debian3.0r2 Stable
HTTP、HTTPS	Apache1.3.31、OpenSSL、Mod_SSL、PHP	Apache1.3.31、OpenSSL、Mod_SSL、PHP	Apache1.3.31、OpenSSL、Mod_SSL、PHP
転送量	3GB / 日	9.0GB / 週	4.5GB / 週
ウェブサーバー定員	40契約 / サーバー	140契約 / サーバー	140契約 / サーバー
バックアップシステム1	2基のHDDによるミラーリング	2基のHDDによるミラーリング	2基のHDDによるミラーリング
バックアップシステム2	ホットスワップ(3基目のHDD) 1	-	-
バックアップシステム3	2世代以上のフルバックアップ(NASサーバー)	1世代以上のフルバックアップ(NASサーバー)	1世代以上のフルバックアップ(NASサーバー)

1 ミラーリング用HDDが故障した際、故障したHDDを切り離し、予備のHDD1基を起動。常にミラーリングを行う

お問い合わせ先: 株式会社シーサイドネット info@cside.jp